



SDGs



17のゴールと協同の関わり

SDGs…Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



産業と技術革新の基盤をつくろう

様々な人が使いやすいインフラや生産技術、情報サービスなどを整備することで、産業が持続可能かつ安定したものになり、経済発展や所得の増加などにつながります。農作業の機械化やスマート農業の導入は、経験が少ない人でも比較的簡単に作業ができるほか、圃場管理が効率的になるなど、生産能力の向上が期待できます。農産物の販売や消費を促進したり、加工して商品化したりすることは、農産物の価値を高め、経済活動を活性化させます。JAや関係機関は、新技術の実証実験や農産物を活用した商品開発、販売PRなどを行っており、新しい技術やサービスの導入にはお金が必要になるため、必要な人が有意義に使えるように、経済や技術、そして人々の活性化に向けて、農業分野を軸にした金融サービスも行っています。



スマート農業実証プロジェクト



管内農産物を使った商品の開発・試作

10 人や国の不平等をなくそう



人や国の不平等をなくそう

年齢や性別、障がい、生まれ、経済状態などといったあらゆる面での不平等をなくし、すべての人が社会的や経済的、政治的に取り残されないように能力を高め、平等な機会をもつことができる環境をつくりましょう。JAや女性部が福祉施設や学校、地域社会などで行うボランティア活動や交流もそのひとつであり、JAは金融共済サービスを通して、社会保障などに接する機会もついています。また、格差をなくすためには、あらゆる人が差別や偏見をやめ、適切な法律や行動をすすめながら、定められたルールを守る必要があります。JA運営についても同様で、JAに関する法律や規定などに基づいて、JA事業が不正なく行われているかチェックするとともに、役職員のコンプライアンス意識の向上に努めています。



女性部が障がい者施設で収穫ボランティア



窓口担当職員のコンプライアンス研修